

下水道事業会計

し尿等投入施設整備

令和8年度は、令和7年度に引き続き、設計施工監理業務、建設工事の実施を予定しています。



令和7年度に予定していた建設工事のうち、土木工事が繰越となり、こちら令和8年度に実施しています。施設の整備は、令和9年度まで行う計画となっています。

事業費の財源は、2分の1が国庫補助金、残りは、企業債と山麓事務組合からの負担金で、この負担金は白馬村及び小谷村の一般会計から山麓事務組合へ支出されています。

浄化センター耐震化及びストックマネジメント

令和8年度は、白馬村浄化センターの管理施設、汚泥濃縮施設、汚泥脱水施設、沈砂池施設の更新及び耐震化詳細設計を予定しています。

令和7年度に実施予定となっていた、管理施設、処理水再利用施設、汚泥濃縮施設、汚泥脱水施設、沈砂池施設の改築及び耐震化詳細設計については、入札不調により令和8年度に繰越となったため、事業の全体計画が約1年遅れています。

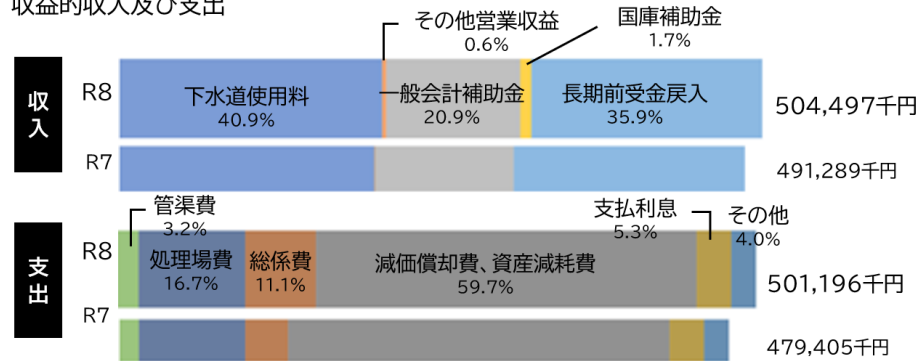
事業費の財源は、2分の1が国庫補助金、残りの2分の1が単独事業分となります。

経理事務効率化

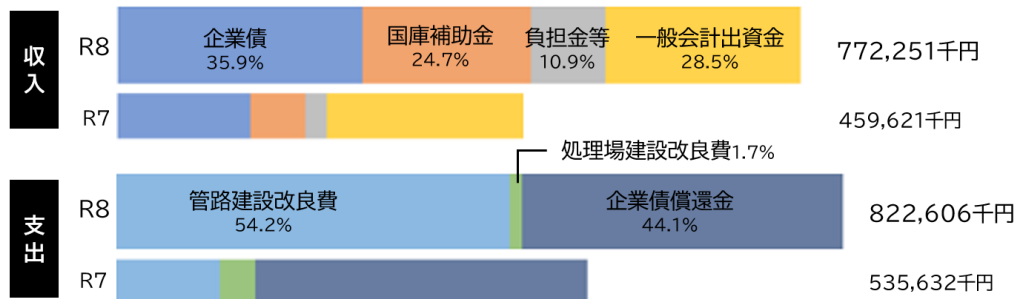
水道事業会計・下水道事業会計の経理事務効率化のため、企業会計システム・料金システムのリプレイス業務を実施します。システム構築に係る費用として1015万円を計上しています。

(全体費用3058万円を水道事業会計と按分)

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



《 主な予算 》

(※カッコは対前年比)

収入

- 下水道使用料 2億632万円(676万円増)
- 一般会計繰入金(3条及び4条) 3億2,540万円(809万円減)
- 企業債 2億7,730万円(1億2,800万円増)
- 国庫補助金(3条及び4条) 1億9,898万円(1億3,561万円増)
- 工事負担金 6812万円(5,197万円増)

支出

- し尿等投入施設整備設計施工監理業務 1,992万円(1592万円増)
- し尿等投入施設整備土木工事 3億9903万円(3億221万円増)
- 浄化センター耐震化実施設計業務 1400万円(2,600万円減)
- 浄化センター運転維持管理委託料 4,733万円(増減なし)
- 企業会計システム・料金システム更新業務 1015万円(新規)
- 支払利息 2,658万円(4万円減)
- 企業債償還金 3億6,274万円(1,444万円減)